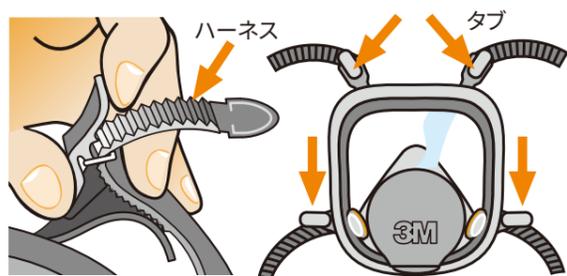


3M™ 防じんマスク 6000F シリーズ (全面形面体) 装着方法

1 ハーネスをゆるめる



指でタブを引き上げるようにしながら、ハーネス(しめひも)をのばして、4カ所全てをゆるめます。

2 アゴを乗せる



片手で面体を持ち、もう一方の手でしめひもの下部を持ちます。アゴがマスクに乗るようにマスクの位置を調整しながら、ハーネスを引っぱりあげるようにして、頭からかぶります。

3 アゴの位置を確認



片手で面体を押さえたまま、もう一度アゴの位置を確認してください。また、面体に髪の毛などが挟まらないように注意してください。

4 4カ所で調整



片手で面体を押さえたまま、下側の左右のハーネスを後ろに引くようにして調整します。次に上側の左右のしめひもを調整します。この時、面体がつぶれるなどの変形を起こすほど強くしめすぎないように注意してください。

5 漏れ込みがないか確認



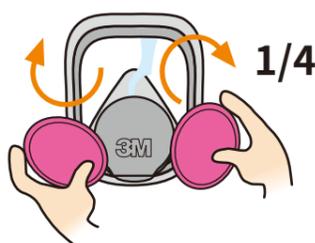
最後にマスクと顔の密着の良い場所に合わせるようにもう一度、位置を調整してください。これで装着完了です。

Point 1 ろ過材を正しくセット

3M™ ろ過材の取り付けは、ろ過材の3つのミゾを面体の3つのツメに合わせ、軽く押さえつけるようにしながら、時計方向に1/4ほど回転させます。「カック」と感じたところで止まります。



凸凹を合わせて、回す!



両方とも時計方向です!

Point 2 密着性の検査

フィットチェックツールの先端を指でつまみ息を軽く吐き出します。面体が少し膨らみ、顔との間から漏れがなければよいフィットが得られています。顔と面体の間から空気が漏れるようであればマスクの位置やハーネスの強さを調整しなおしてください。



ゴム製のフィットチェックツール(別提供)を排気弁カバーの排気口に差し込みます。



フィットチェックツールがない場合は、排気弁カバーの排気口を手のひらで塞ぐことで、ユーザーシールチェックを行えます。

